

2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

評価項目2  
ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3  
地域の関係機関との連携を図っている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリー2の講評

**遵守すべき法・規範・倫理を明示し、職員の理解が深まるように取り組んでいます**  
「職務にあたっての心得」を廊下に掲示している他、就業規則、職員ハンドブック、マニュアル等に掲載し、倫理や関係法令の規定がいつでも確認できるようになっています。また、職員の綱紀の保持に関する通知等、法人本部や区役所からの配布文書は、園内で回覧したり、職員会議や打ち合わせで周知を行っています。

**地域のボランティアを積極的に受け入れています**  
お餅つき会には郷土会の協力、竹馬ボランティア(修理)や、ボランティア協会からの依頼など、積極的にボランティアを受け入れています。ボランティアの受け入れに関しては、事前オリエンテーションでボランティア受け入れマニュアルにもとづいた説明を行っており、この中でプライバシーの尊重など留意点を伝えています。また、終了後には、感想を書いてもらい、ふり返りも行っています。

**地域の児童館をはじめ、地域の関係機関との連携を図っています**  
児童館の秋祭りでは、園の保育士が1つのゲームコーナーを担当するなど、地域の児童館の行事への参加・協力を行っています。また、地域行事への参加・協力に加え、私立保育園園長会、保育部会等のネットワークにも積極的に参加しています。

カテゴリ3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点( A+ )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ●あり ○なし

保護者からの様々な意見を聞く環境の充実に取り組むとともに、迅速に対応することにより、信頼関係の構築に努めています。

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

### カテゴリー3の講評

#### 行事ごとにアンケートを実施し、保護者の意見を反映するしくみがあります

秋祭り、運動会、お楽しみ会などの行事ごと感想アンケートを実施、出された意見を集約し、園だよりの号外に掲載したり、園内に掲示するなど、保護者へフィードバックしているほか、行事総括を行い、次回や次年度の取り組みに反映させるようにしています。

#### 意見箱を設置し、保護者からの意見を大切にしています

行事のアンケートの他、入り口横に常時意見箱を設置し、保護者からの意見を積極的に収集しています。また、寄せられた苦情に対しては、迅速に書面に対応し、保護者意見要望記録簿に記載しています。一方、利用者調査では、要望や苦情の言いやすさやその対応等について、保護者からの肯定的な割合が他の項目に比べて低いことから、さらなる改善が望まれます。

#### 地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を収集・把握しています

地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向は、法人本部、地域教育連絡会議や私立保育園の園長会、東京都社会福祉協議会等のネットワーク、外部研修等への参加により収集・把握しています。

カテゴリ4

4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリ1

実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

評価項目1

取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んで いる	○非該当

【A+の取り組み】 あり なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 あり なし

カテゴリー4の講評

園の事業計画は、園独自のホームページで確認することができます  
各年度の事業計画は、園独自のホームページから計画書をダウンロードできる様になっています。事業計画には、保育方針、保育目標、  
クラス別編成方針、年間行事、健康管理、食事などの他、職員会議、職員の健康管理、研修、備品購入や改修等、保護者に対する取り組み  
など、多岐にわたって記載されています。

保護者や現場の声をいかしながら、計画的に策定・見直しを行っています  
法人全体で取り組む計画やマニュアルについては、現場の声をいかしながら策定・見直しを行っています。また、園の行事予定作成等に  
あたっては、アンケート等で寄せられた意見を次年度の計画づくりにいかしています。一方、職員自己評価によると、計画の策定と実行に  
関する項目、特に計画の実行については、他の項目と比較して評価が低いことから、さらに意識的に取り組んでいくことが期待されます。

子どもの安全確保に関して、ハード・ソフトの両面で充実を図っています  
子どもの安全確保に関しては、防犯カメラ、地震速報装置、AEDなどの設置を段階的に進めてきました。これらのハード面での充実に加え、  
ソフト面では、危機管理マニュアルに基づき、避難訓練等の役割分担と明確化するとともに、日常の安全・予防対策については、会議  
等を通じて職員に伝達しています。また、本園は都営住宅の1階部分にあることから、自治会等の連携を図りながら、子どもの安全確保に  
取り組んでいます。